

恵庭市中小企業振興審議会(平成30年度第2回)
恵庭市中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会(平成30年度第4回)
合同会議 会議録

○日 時 平成31年2月19日(火)
10:00~11:30

○場 所 恵庭市民会館 中会議室



○出席者 審議会委員) 成田 茂利、黒田 雅史、三上 まどか、林 和則、藤井 規、塚崎 敏久、
加藤 強、赤坂 修司、山出 均、今泉 博文、松本 博 計11名
専門部会員) 細川 俊昭、宮内 光則、梅根 裕一、中澤 聡、内山 亘理、千田 大貴、
上森 ゆう子、森谷 一経、芝 香 計9名

○欠席者 審議会委員) 小笠原 剛
専門部会員) 川口 了久、村本 隆雄、竹花 奎一、大貝 健二

○事務局 原田 裕(市長)、佐藤 秀行(経済部長)、渡邊 成人(経済部次長)、
江川 美樹(商工労働課長)、藤井 昌人(同主幹)、吉成 祐輔(同主査)、
桑原 一徳(同主査)、八重樫 かおり(同主任)、恩田 涼(同主事)、
若林 成彦(同主事)、小路 弘樹(花と緑・観光課長)

1. 開 会

2. 委嘱状交付

【市長より、審議会各委員に委嘱状を交付】

3. 市長挨拶

4. 議 事

(1) 審議会会長・副会長選出

【審議会会長、副会長の就任挨拶】

【市長より諮問書を審議会会長に提出】

【審議会各委員・専門部会各委員の自己紹介】

(2) 恵庭市中小企業振興基本計画の中間見直しについて

【事務局より別紙資料①-1に基づき、中間見直しによる変更点を説明】

【専門部会長より別紙資料①-2に基づき、中間見直しのポイントについて説明】

・意見等

審議会委員C： 非常にまとまりがあり、かつ網羅的な内容となっていると思います。
数値目標を掲げ成果を意識した計画となっており、非常に良いと思います。
中小企業を取り巻く課題は他地域でも同様であると思われませんが、恵庭市の特色を活かした実効的な施策の展開を期待します。

審議会委員D： 私が所属する団体では、会員の約半数が自営業者や起業家であり、視点3の「起業・創業への支援」については、自分たちに身近な問題として非常に関心があります。また、視点1の「魅力的な就労環境の整備」については、恵庭市には子育て世代の女性も多い中、こういった問題に対して関心が薄いように感じています。市内企業の周知や恵庭のブランディングといった部分に関しては、私たちも協力できるのではないかと考えています。

5. 報告

(1) 恵庭市中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会における事業アイデアの検討結果について

【事務局より別紙資料②-1、②-2、計画内の基本戦略に基づく具体的な事業について、専門部会で議論した事業アイデア並びに次年度以降の事業への反映手法を説明】

・意見等

専門部会長： 専門部会委員の皆様には様々な意見をいただき、事務局とも調整し、意見・アイデアをまとめさせていただきました。その中で私自身、起業するだけでなく、起業後に成長させるために必要な支援を行うことが大切であると思っています。そのためには、恵庭市の知名度アップや人材確保など、様々な問題をつなぎ合わせて、総合的な視点で取り組んでいただければと思っています。

専門部会副会長： 専門部会委員の皆様には様々な意見をいただいております。起爆剤となるような斬新なアイデアも出ていましたが、やはり一つひとつの事業を地道に行い、PDCAサイクルを回して、様々な事業を点ではなく線で、総合的に行っていくことが大事であると委員の皆様と共有させていただきました。

審議会委員E： 専門部会副部長もお話されていましたが、PDCA サイクルを回して、一つひとつの事業を地道に行っていくことが大事であると思います。また、いろいろな事業を行っていく中で市だけではなく、商工会議所など関係機関が連携して行う必要があると思います。

審議会委員F： 起業しても事業が長く続かないという方がいる一方、起業する意向を持った方は多く、起業家支援については、業種やステージに応じたきめ細かい支援（補助）メニューを考えていただければと思います。

(2) 恵庭市人材確保計画の策定について

【事務局より別紙「恵庭市人材確保計画」、「恵庭市人材確保計画【概要版】」に基づき、計画の概要について説明】

・意見等

審議会委員G： 人材確保に関しては、仕事内容や仕事の魅力だけではなく、住みやすさや利便性など周辺環境の整備も必要であると思います。恵庭で仕事をするだけではなく、+αの魅力があれば、人を惹きつけることができるのではないかと思います。

審議会委員H： 私の会社では人が足りなくて困ったという経験はあまりありませんが、特に製造業では全国的に人手不足の状況にあると思います。今日、事務局の説明を聞いて、計画の内容や事業アイデアなど非常に参考になるものばかりで、自社の経営に活かしていければと思っています。

審議会委員I： 私自身、恵庭と千葉に自宅があり、頻繁に往来していますが、近年LCC（格安航空会社）が次々と就航したことにより、気軽に本州との往来ができるようになりました。発想を転換し、恵庭近郊から人を集めるのではなく、道外の人材に目を向けた施策も有効であると思います。

6. その他

【事務局より別紙資料③「2019年～2020年のスケジュール（案）」に基づき説明】

・その他質疑等

事務局： 皆様にお集まりいただいている機会ですので、2点ほど質問させていただきたく思います。1点目は消費増税について、各業界でどのように対策を行っていくのか、あるいは、市でも何かできることはあるのかを教えていただきたいと思います。2点目は、次年度に市内中小企業の業況把握のため「中小企業経営実態調査」を実施いたしますが、アンケートの回収率を上げて、より恵庭市の実態を反

映させたものにしたいと考えています。アンケートの回収率を上げるために有効な手法が無いアイデアをいただきたいと思っています。

専門部会委員C： 私の会社で取り扱う商品は軽減税率の対象であることから、対応については非常に複雑で苦慮しております。当社では既に社内での勉強会を実施しており、必要に応じて社内勉強会やセミナーに参加するというのが有効ではないかと思えます。

専門部会委員D： アンケートに関しては、郵便であれば10%の返信があれば良いほうであると思えます。これは、恵庭だけでなく他地域でも同じで、直接出向いて記入してもらうなどしなければ、回答率をあげるのは難しいと思えます。

審議会委員J： 消費増税について、会員向けにアンケートを実施したところ、女性はほとんどが反対、男性は国の財政等を鑑みるとやむを得ないという意見が多いという結果が出ています。

審議会副会長： 本日の説明を聞いていて、何か施策としてつながるものは無いかと考えていましたが、市内の空き店舗を活用し、観光案内や地場製品の販売などを行うのはどうでしょうか。市内の大学や専門学校の学生などにも協力を依頼し、インバウンド向けの通訳や販売、マーケティングなど学生の社会学習の機会を提供し、将来的に起業や市内に残って働くきっかけとなれば良いと思えます。また、このような場があることで、商店街・市内産業の発展につながると思えます。

審議会委員E： 事業承継は国全体の課題となっており、特に北海道は経営者の高齢化率が高く、後継者の決まっていない事業者が多く存在しています。3月1日（金）に事業承継推進会議（北海道ブロック）を開催するので、是非、委員の皆様にもご参加いただきたいと思えます。また、胆振東部地震の影響を受けた小規模事業者を対象に事業再建等を支援する「小規模事業者持続化補助金」の公募を行っています。委員の皆様には、対象となる方がいらっしゃいましたら周知をお願いいたします。

7. 閉 会